

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	釧路港における安全で利便性の高い港湾環境の形成（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	令和０３年度 ～ 令和０６年度 （４年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	釧路市														
計画の目標	緊急的な対応を要する施設の計画的な改良により、安全で利便性の高い港湾環境を形成する														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		120	A	120	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ R3当初 ）	（ R4末 ）	（ R6末 ）
1	利用に支障をきたしている係留施設（１施設）の改良率を68%（R3）から100%（R4）にし、安全性の確保を図る。			
	係留施設の改良が必要な部分の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な部分の対策率(%) = (対策済み延長(m) / 計画期間内の改良の必要な延長(m)) × 100	68%	100%	100%
2	利用に支障をきたしている防舷材（13箇所）の改良率を0%(R3)から100%(R6)にし、安全性の確保を図る。			
	防舷材の改良が必要な箇所の対策済となった割合を算出する。 改良が必要な箇所の対策率(%) = (対策済み箇所数 / 計画期間内の改良の必要な箇所数) × 100	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
釧路市強靱化計画に基づき実施される要素事業：A02-001、A02-002												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	南新埠頭南側ドルフィン 改良	L=36m	釧路港・東港区						53		策定済
		令和 5 年度より、他事業へ移行																	
	A02-002	港湾	北海道	釧路市	直接	釧路市	重要	改良	第3埠頭防舷材改良	防舷材取替・補修 1 3 基	釧路港・西港区						67		策定済
		令和 4 年度より、他事業へ移行																	
											小計						120		
											合計						120		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
所管部署により評価を実施。	事業完了後
	公表の方法
	評価完了後、釧路市ホームページに掲載。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業実施により危険個所が解消され、安全で利便性の高い港湾環境が形成された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	施設の機能回復により利用者の利便性が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
今後も、計画的に施設改良を実施し、安全で利便性の高い港湾環境の形成に努める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	